



ガル氏が今一番期待している幼虫。体重●g。羽化後の予想体長は●mm？



ガル氏の飼育部屋

早期羽化で産卵させることは可能なのでしょうか。

チヨネ…僕はやってますので、可能です。土屋…久留米をやってる人たちは期間がまだ短いから、感覚がまだわかっているというところでしょうか。

チヨネ…そうですね。たぶんブリーダー人口とかライン数とか、やりにくいやりやすい、成長度合いがちよつと違う。そのへんの理由もあるんですけど、同じようなことは言えるんじゃないかとは思ってますけどね。

土屋…久留米で早期羽化の♀を使う場合は、羽化してから成熟させるまで何てく

らいで？

チヨネ…僕は、冬眠をさせず25℃で3ヶ月くらいで成熟しました。

土屋…羽化させるのは30℃くらいで、羽化してからは25℃で？

チヨネ…そうですね、ワインセラーで。土屋…5月くらいには成熟してペアリングできるようなになる？

チヨネ…大丈夫。2頭ともいけました。メルリン…そう聞くと、これから累代は2倍早まるかもしれないですね。今まで隔年でやってましたからね。

ガル…大きくなってきているというのは、そういうのもあると思うんですけどね。チヨネ…けっこう食痕が出にくいエサを食わせているけど、一番食痕が出たのは早期羽化のラインでした。食いが早い感じがした。

土屋…早くとれるほど、試したいことがあるくらいです。

メルリン…ただ、かけあわせる兄弟がどういう実績のものを選んでいくかっていうのが、ペアリングしている時にはわからない。そういう楽しみをするなら、隔年がやっぱり良いんですよ。一線を指すならそつちをやった方が間違いない。

ガル…早期羽化を使うっていうのは、メルリンさんが仰られたように羽化実績がわからない。だから、♀を早期羽化させて準備はしても、その♀の兄弟の状態で動かさないと見て「これダメだ」と思ったらそこでその♀は使わない。

メルリン…なかなか難しいですよ。そう考えると数を飼育するっていうのは、ある程度の確率を上げるためには欲しいですよ。

ガル…そうですね。チヨネ…早期羽化の♀ってどのくらいの大きさまで出ます？

メルリン…じゃあかかなと思いますよ。チヨネ…ブリーダーの努力とエサの開発の部分ですよ。

すーやん…うちの川西は体重が乗っても大きくなれないですよ。だから、YGをはじめた時はショックでした。だいたい同じ蛹体重で2〜3mm以上、YGの方が大きい時があります。

メルリン…それは体型が違う？すーやん…体型といえませんが、川西は厚みが出るようなところがあります。それが縦に出るんですけど、YGはメルリン…いろんな形が久留米だと出てくるんですけど、たとえば同じ85mmで

メルリン…たしかにYGも腹部は長い。じゃあ頭部は？っていうと、大きくなるにはやっぱり頭幅もないと縦も出ないと思うんですよ。それがバランス良く出る血統になりつつあるかな。

土屋…体長を伸ばすという意味では、頭部と前胸つてびよんつて伸びませんね。伸ばすつてたぶん、上翅と大あごだと思っただけですよ。

よしとわ…大あごは伸ばさないとダメですよ。大あごの短いラインは淘汰していかないと。

土屋…やっぱり♂を選ぶ時は大あごの長いのを選びます？

よしとわ…絶対ですよ。そこは絶対はずせません。それプラス、メルリンさんが仰られたように胴が長い。

ガル…うんうん、体長を稼げますね。よしとわ…大きくする時に、どういう形で出るのかってイメージして組み合わせますよ。

メルリン…そこは重要で、形はね。土屋…オオクワガタが進化してるって言うても、それでも限界つていつかは来ると思うんですよ。皆さんは限界値はどのくらいだと思いますか？

チヨネ…ここまでくると、わからないですよ。90mmは問題なく超えるでしょう。メルリン…さつきチヨネさんとむし社営業部でスマートラヒラタの92と94を見て、

薄いエサを食ったのか。

ガル…「エサ慣れ」ってヤツですね。土屋…親が食べたエサと同じものを子供が食べれば大きくなるってヤツですね。

メルリン…そこは意見が別れます。チヨネ…それはやってみないと…。主水…いま私これ、ここ2年くらいやってるんですよ。

土屋…エサ慣れつて話になると、メルリンさんとかは1本目、2本目、3本目を別の菌糸ビンにしても86mmとか出てますよ。

チヨネ…諸説色々あると思うんですけど久留米の意見としては、強いエサで選別してできたのがYG血統じゃないかという仮説を立ててる。

土屋…添加とか栄養価の高いヤツから生き残ってきたヤツらを選別してると。主水…そうですね。高栄養を吸収して自然羽化してきてる。で、久留米はそういう経験がないみたい。じゃ、久留米だつて同じことやれば大きくなるんじゃないか？っていうことで、やってるわけですよ。

土屋…実際、どうなんですか？主水…わからない(笑)。まだはじまったところなので。

メルリン…ちよつと前の久留米はいろいろやって羽化不全のオンパレードになったんですけど、今は82mmはけっこう普通に出る。やっぱり特定のラインだけが多いんですけど、そういうのはまたちよつと栄養の吸収度が変わってきて、能勢と同じようにできるのかもしれない。

土屋…それはエサ慣れという意味ではなくて、その大きさに慣れることに慣れたという意味ですかね。今まで85mmにしかなかった体が87mmまでなれるキャパシティを持ったというべきか。

よしとわ…肉體改造ですね。

肉體改造と進化

土屋…皆さん、♀を選ぶ時はサイズで選びます？形で選びます？

よしとわ…サイズではないですね。好みだと思っんですけど、細くて薄いヤツ。すーやん…私もサイズじゃないですね。

兄弟が大きくなったとかそういうところは見ますけど、同じラインで言うなら幼虫体重より大きくなったとか、そういうところかな。たとえば15gあれば普通に52〜53mmつて出ると思うんですけど、たとえば13〜14gでもそれくらいのサイズになったとかつていうヤツは、試してみれば価値はあるのかなあと。そういうところはちよつと惹かれますよ。

主水…私はポテツとしたのは使わないですね。どつちかという細長い。あと、組み合わせる時にその♀が食ったエサを考慮する。添加剤が濃いエサを食ったのか

あつても、パツと見「お尻長いなー」と思つて測ると、同じくらいのサイズの85mmと比べてもお尻だけ1mm以上長いとか、「ああ、これサイズ稼げるな」っていう形のヤツはいます。

土屋…サイズを稼ぐために尻を大きくするべきなのか、でもプロポーションも当然考えなきゃいけないとなると不恰好ですよ。

ガル…たしかにYGも腹部は長い。じゃあ頭部は？っていうと、大きくなるにはやっぱり頭幅もないと縦も出ないと思うんですよ。それがバランス良く出る血統になりつつあるかな。

土屋…体長を伸ばすという意味では、頭部と前胸つてびよんつて伸びませんね。伸ばすつてたぶん、上翅と大あごだと思っただけですよ。

よしとわ…大あごは伸ばさないとダメですよ。大あごの短いラインは淘汰していかないと。

土屋…やっぱり♂を選ぶ時は大あごの長いのを選びます？

よしとわ…絶対ですよ。そこは絶対はずせません。それプラス、メルリンさんが仰られたように胴が長い。

ガル…うんうん、体長を稼げますね。よしとわ…大きくする時に、どういう形で出るのかってイメージして組み合わせますよ。

メルリン…そこは重要で、形はね。土屋…オオクワガタが進化してるって言うても、それでも限界つていつかは来ると思うんですよ。皆さんは限界値はどのくらいだと思いますか？

チヨネ…ここまでくると、わからないですよ。90mmは問題なく超えるでしょう。メルリン…さつきチヨネさんとむし社営業部でスマートラヒラタの92と94を見て、

薄いエサを食ったのか。

ガル…「エサ慣れ」ってヤツですね。土屋…親が食べたエサと同じものを子供が食べれば大きくなるってヤツですね。

メルリン…そこは意見が別れます。チヨネ…それはやってみないと…。主水…いま私これ、ここ2年くらいやってるんですよ。

土屋…エサ慣れつて話になると、メルリンさんとかは1本目、2本目、3本目を別の菌糸ビンにしても86mmとか出てますよ。

チヨネ…諸説色々あると思うんですけど久留米の意見としては、強いエサで選別してできたのがYG血統じゃないかという仮説を立ててる。

土屋…添加とか栄養価の高いヤツから生き残ってきたヤツらを選別してると。主水…そうですね。高栄養を吸収して自然羽化してきてる。で、久留米はそういう経験がないみたい。じゃ、久留米だつて同じことやれば大きくなるんじゃないか？っていうことで、やってるわけですよ。

土屋…実際、どうなんですか？主水…わからない(笑)。まだはじまったところなので。

メルリン…ちよつと前の久留米はいろいろやって羽化不全のオンパレードになったんですけど、今は82mmはけっこう普通に出る。やっぱり特定のラインだけが多いんですけど、そういうのはまたちよつと栄養の吸収度が変わってきて、能勢と同じようにできるのかもしれない。

土屋…それはエサ慣れという意味ではなくて、その大きさに慣れることに慣れたという意味ですかね。今まで85mmにしかなかった体が87mmまでなれるキャパシティを持ったというべきか。

よしとわ…肉體改造ですね。

肉體改造と進化

土屋…皆さん、♀を選ぶ時はサイズで選びます？形で選びます？

よしとわ…サイズではないですね。好みだと思っんですけど、細くて薄いヤツ。すーやん…私もサイズじゃないですね。

兄弟が大きくなったとかそういうところは見ますけど、同じラインで言うなら幼虫体重より大きくなったとか、そういうところかな。たとえば15gあれば普通に52〜53mmつて出ると思うんですけど、たとえば13〜14gでもそれくらいのサイズになったとかつていうヤツは、試してみれば価値はあるのかなあと。そういうところはちよつと惹かれますよ。

主水…私はポテツとしたのは使わないですね。どつちかという細長い。あと、組み合わせる時にその♀が食ったエサを考慮する。添加剤が濃いエサを食ったのか

あつても、パツと見「お尻長いなー」と思つて測ると、同じくらいのサイズの85mmと比べてもお尻だけ1mm以上長いとか、「ああ、これサイズ稼げるな」っていう形のヤツはいます。

土屋…サイズを稼ぐために尻を大きくするべきなのか、でもプロポーションも当然考えなきゃいけないとなると不恰好ですよ。



よしとわ氏の飼育部屋



よしとわ氏が今一番期待している幼虫。体重●g。羽化後の予想体長は●mm？



すーやん氏の飼育部屋



すーやん氏が今一番期待している幼虫。体重●g。羽化後の予想体長は●mm？



メルリンカート氏が今一番期待している幼虫。体重●g。羽化後の予想体長は●mm？



メルリンカート氏の飼育部屋

シャーに覆われますね。

土屋：自分へのプレッシャーというか目標が定まっているんだしたら、良い結果を出せそうな気はします。

よしとわ：がんばりまーすよ！（一同笑）土屋：最後、ガルさんお願いします。

ガル：私は先ほど申しあげたとおり、ギネスを獲ってみたいなど思っています。僕の手元に来た能勢YGが良い虫だったので、そこに外側から注射で液体を入れて、あと温度だけ適温にしておけば幼虫がほとんど大きくなる……と。

メルリン：ガチャガチャの入れ物みたいなものに幼虫入れて、幼虫のまわりをマットに代わるような染みこませるものにして、それを幼虫が食べてフンをして、そこで外側から注射で液体を入れて、あと温度だけ適温にしておけば幼虫がほとんど大きくなる……と。

土屋：栄養分だけを抽出したものを作っただとして、それを保たせられるかも重要だと思っただよ。キノコは生きてるからこそ菌糸ピンは何カ月も保つものであって、栄養素だけを抽出したら、そんなに保たないと思うんですよ。

よしとわ：でも、菌糸を使わない、安定した状態のものが作れたら可能性あるんじゃないですか？

メルリン：今大型やってる人は少ないと思いますけど。

ガル：大型やってる人増えてませんか？むしろ。

よしとわ：大型やってる人は増えてるかもしれない。裾野は狭くなってるかもしれない。土屋：裾野もけて減ってる感じではないですよ。むしろ最近、ちよつと増えるんじゃないですかね、やってる人。ガル：僕は売ってるんでわかるんですけど、新しい人もいればやめてく人もいて、

私の中で、手元にある大きくなる虫が鶴原さんの能勢YGだったんですよ。僕も30ラインくらいやっていて、どっからでも大きいのが出せるラインができてきましたので、もちろん変えることはできないです。これから先89mm、90mmと聞いていったとしても、そこに常についているような状態というか、そういう虫を持つて戦う。

土屋：今やっってる中で、ギネスはもう超えられそうだなという感触みたいなものってあります？

ガル：毎年あるんですけどね（一同笑）。今日も朝から41gを掘ってきたんですけどね、3カ月のね。

一同：3カ月で41?!

土屋：1本目から掘り出して41?!

ガル：そうですね。

メルリン：1本目ってどれくらいの容器サイズなんですか？

メルリン：ボトルの大きさはね、自分もあまり関係ないと思ってるんですけども、41gいった時はもう白い部分は残ってない状態？

ガル：ポツポツって感じですよ。だから、毎回その気（ギネスを獲る）になってるんですけどね。

土屋：栄養の還元率がおそろしく高いですね。

メルリン：800で40gって、ボトルが小さいから全部自分の環境にできちゃうんじゃないですか？居食いゾーンを作るんじゃないですか、あれが1本分全部そうですね。

土屋：それが2本目で新しくなった時に、その虫にとってどうなんでしょうね？環境がまた1からになってしまおう？

今年新しい人が多かった。逆にやめた人って数えるくらい、ここ2〜3年で。土屋：新規の人が増えたというより、いったん引退した人が再開したというのが多くないですか？

ガル：そうですね。今年はそういうパターンが多かった。

チヨネ：今日のオフ会でも、そういう人が2〜3人いましたよ。

土屋：いったんハマった人は、「ちよつとやりすぎて疲れたな」（一同笑）って休んだあと、またなんかムクムクつとやりたくなってくるんですよ。小学校の時に虫採りやっけて、中学高校でやめて、社会人になってまたはじめたりする人が多いんじゃないですか。それと同じじゃないですかね。

すーやん：今の子供たちの世代って、そういう経験が少ないんじゃないですか。これからは難しいかもしれません。

土屋：やれる環境がないんですよ。自然がないし田舎ないし。

メルリン：そうですね。

土屋：そろそろ移動開始しないとマズいんですかね。皆さん待たせちゃう。皆さんおつかれさまでした。

オオクワ座談会の後におこなわれた品川オフ会の様子はこちら！



最後に参加者全員での集合写真！北は岩手、南は長崎から、遠路はるばる総勢●人のオオクワ好きが集まりました。また今年も開催予定です。みなさん、9月に会いましょう！



品川オフ会の風景。8月頭に告知して、実施まで約1ヵ月という短い募集期間でしたが、多数のブリーダーさんに集まってもらえました。初対面の方も大勢いるのに、共通（オオクワガタ）の話題ならすぐに打ち解けますね。

Table with 10 columns and 10 rows of black dots, likely a decorative element or a placeholder for text.

ガル：作り直すんでしようね。そこで素質のある幼虫なら上手に作り直すし、ダメだとそこで失速ってなっちゃうんでしようね。

土屋：そこって、結局虫に頼るわけですよ。人間の方でどうにかできないんでしようか。虫に合わせるもらうんじゃないですか。人間が合わせることはできないんでしようか。エサを。

よしとわ：完璧にはムリじゃないですか？今連結タイプの容器でストレスなく交換できるものもありますけど、それで交換したとしても、やっぱりその部分は新しい環境じゃないですか。それは虫のために良い環境かどうかはわからない。ちよつと（幼虫の環境を人間が）作るの難しいかなと思いますけど。

ガル：良いヤツはそのままきれいにまた自分の場所を作りますよ。

土屋：しかし、幼虫にとってガラツと環境が変わるのは、やっぱり影響があると思います。

ガル：普通にやったら2回ありますからね、エサ交換。

よしとわ：しかし、食痕とか入れたら、保ちが悪くなっちゃう、たぶん。

土屋：アンタエウスの話を聞いた野澤さんは、ピン交換した時に古い食痕を入れるのをやめたら幼虫が大きくなったと言っていました。でも、小島さんは食痕を入れた方が良いと言ってます。だから、昔の常識が今も常識かという、そうではないんですよ。

一同：うんうん。

チヨネ：私も昨年失敗したので入れないですね、食痕。

メルリン：僕も全然入れない。

ガル：フンを10個くらいするじゃないですか。あのフンがたぶんバクテリアの基

になるかと思うので、人間がわざわざなにかする必要はないと思いますよ。

土屋：そういう意味では、まだまだ考える余地があるのかな？と思います。血統で伸ばしていくだけじゃなくて、まエサとかに工夫の余地がありそうな気がします。まだやり方はわからなくても。

メルリン：いまやっってる菌とは別の菌とが出てきて、ポーンといく可能性もゼロではないですね。

土屋：そうですね。

すーやん：いまオオヒラタケ主流ですけど、まったく新しい菌床が出てきて……っていうのはありえるかもしれないですね。

土屋：もうそろそろ時間ですね。ホントはもつと話したいことがあるんですけど。私は次世代のエサっていうのはどういうものか？という話をしてみたいなと思って。菌糸ピンから発展してないじゃないですか、エサって。最初は材飼育で、発酵マットで菌糸ピンになって、第四世代のエサって誰も作ろうとも考えてもいないんですけども。

すーやん：それはブリーダーには難しいですね。業者さんがやってくれないと。

土屋：業者さんというか、幼虫のエサとなると最終的にキノコ屋さんになっちゃうと思うんですよ。でも、私が考える第四世代のエサって、キノコ屋さんの世界ではなくて、たとえば菌糸ピンの中でオガの栄養とかキノコの栄養とか幼虫の栄養になる部分があると思うんですけど、そこだけを純粋に抽出してエサにできないかな。余分なものがない

100%の栄養素。

ガル：純粋のものを作れたら、1本でいけるんじゃないですか？